

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	・身体拘束をしないケアの実践 A棟で2名だけ、外に出ようとされ、対応するが職員が見守りが十分に出来ない時もある為施錠せざる得ない現状である。	職員間の連携を密に図り、施錠しないようにしていきたい。	事業所にも協力をもらい、出入り口のドアに感知器を設置して頂き、職員も十分な対応と見守りに努めていきたい。	2ヶ月
2	6	・運営に関する利用者、家族等意見の反映 半年に一度の担当者会議に出席されるのがやっとの家族が多い為、家族会を作る機会が持てない。	少数からでも家族会が設立できるようにしたい。	・現在担当者会議を利用し、設立の必要性を説明し協力の声かけを行っている。 ・行事(敬老会の日)を利用し家族に参加して頂くようにした。	6ヶ月
3	12	・重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 家族への文書化した説明、了承を得る事を行っていない。 協力医療機関との話し合いもまだ十分にできていない。	協力医療機関との十分な話し合いを行い入居時に本人、家族へ説明し了承を得たい。	①入居時の「重要事項説明書」に苑の方針を記載した。 ②協力医療機関との懇親会を来年早々に計画しているが、病院の移転等が重なり期日は未定となっている。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。